The 46th JCI Technical Conference | A. Material & Construction | Cement

Cement

座長:迫井裕樹(土木),西祐宜(建築)
Wed. Jun 26, 2024 10:00 AM - 12:00 PM Room 3 (第1・2会議室)

[1006]Study on Humidity Distribution and Hydration Reaction in Coated Finished Concrete Subjected to Drying

MOKA TANABE[1], ATSUSHI TERAMOTO[1], IPPEI MARUYAMA[2] (1.広島大学 2.東京大学)

Keywords: 炭酸化反応、水和反応、内部相対湿度、仕上げ塗装

CO_2固定化技術の一つである炭酸化反応にはセメントの水和生成物を必要とされる。しかし乾燥による内部相対湿度の低下が水和生成物量に与える影響についての知見は少ない。本研究では，炭酸化反応に必要な水和生成物の内部相対湿度低下時の挙動の基礎的検討として，塗装が施されたコンクリートを対象として，乾燥環境における内部相対湿度の変化，セメントの水和反応に関する分析を行った。その結果，塗装を有する試験体では，乾燥による水分逸散が抑制され水和率が大きくなる傾向を示した。一方，強乾燥下であっても，相対湿度が80%以上の状態では水和生成物量に大きな影響を与えないことがわかった。

©Japan Concrete Institute